



～JA事業紹介編～ まんが：じっく

# 第73話 なおちゃんはどう思う？



主人公の一ノ瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話聞きながら、将来の自分を見つめます。今月は姉からJAの運営方針を聞きながら「身近な協同組合」について考えます。



一ノ瀬 はるの JA職員でなおの姉



※組合員は農業を営む方を対象とした正組合員、JA事業を利用したい方が加入できる准組合員がある



## 編集後記

▽刻々と変わる新型コロナウイルスの状況にさまざまな対応が求められています。一日も早い収束のためには、一人一人が自分事として「今できることを精いっぱいやる」ということではないでしょうか。制限されることへの不満を抱くのではなく「今だからできる」と視点を変えてみましょう。JAの行事も延期や中止となっている中で広報活動においても、視点を変えながら皆さんに情報をお届けしていきたいと思っております。(浅利)

▽田植えの季節となり農業機械を運転する機会が多くなります。また、農作業事故が多くなるものもこの時期です。農作業事故は年間で約350件を超過しており、その多くはトラクターでの転倒によるものです。農作業をする際は家族に作業場所と帰宅時刻を知らせるなど安全確認をしながら作業を行いましょう。(及川)

